

3つの魅力

1

まちを支えるしごと やりがい

「水道」は人やまちを支える生活に欠かせないライフライン。「使命感」と「誇り」を持てるやりがいのある仕事です。

2

日本で最初の近代水道 技術力

水道のパイオニアとして、長い歴史の中で培ってきた技術力を発揮するとともに、最新の技術にも積極的に挑戦しています。

3

日本最大の基礎自治体 大都市ヨコハマ

横浜市の人口は約377万人。市として全国1位です。市民対応、施設の維持管理、様々な仕事があります。

勤務条件等

給与

令和8年度の初任給
(地域手当含む)

高専・短大卒 245,108円
高校卒 231,072円

卒業後の職歴等がある場合など、一定の基準に基づきこの額に加算される場合があります。このほか、通勤や勤務などの状況に応じて、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当などの手当が支給されるほか、期末・勤勉手当が支給されます。

勤務時間

8:30~17:15 (休憩12:00~13:00)

※勤務場所によって、土日祝日勤務、夜間勤務、深夜業務を含む交代制勤務あり
【勤務を要しない日】土曜日及び日曜日
【休日】国民の祝日・12月29日~1月3日

休暇

年次有給休暇・夏季休暇・病欠休暇・結婚休暇など

採用後1年目の住まいを支援します

県外出身の職員が横浜市水道局での勤務を安心してスタートできるよう、採用後の一時的な住居として局の施設が利用できます。

- 交通：相鉄線「三ツ境」駅徒歩12分
- 利用可能期間：令和9年3月から12月まで（予定）
(改修工事を行い、住居が新しくなる予定です。)
- 洗濯機、冷蔵庫、テーブル・イス等が備え付けられています。



※ 改修前の写真です。

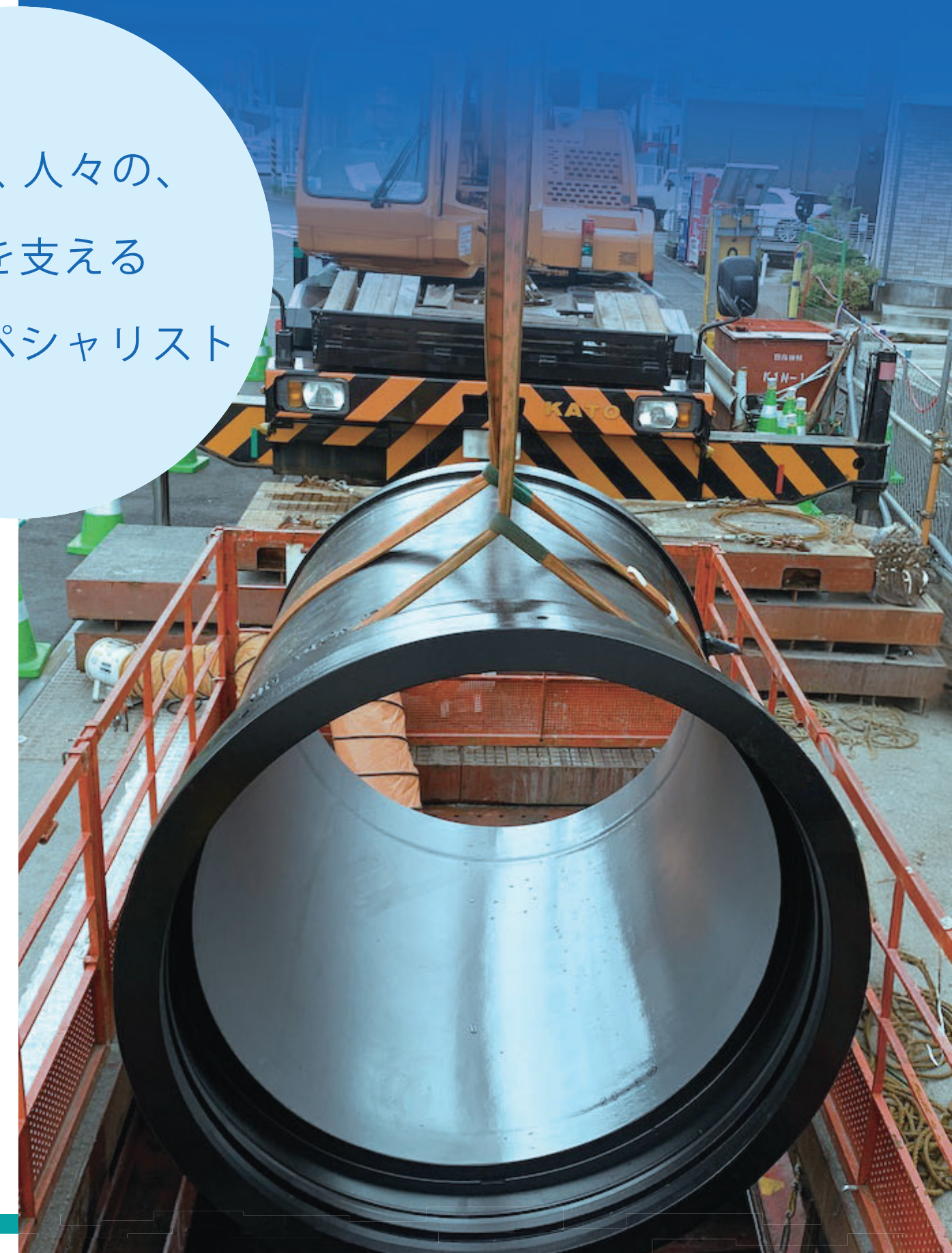
YOKOHAMA
横浜市水道局
職員採用案内

WATERWORKS INTRODUCTORY PAMPHLET

水道技術職

2026

横浜の、人々の、
未来を支える
水道のスペシャリスト



問合せ先

横浜市水道局 総務部 人事課 TEL. 045-671-3110

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 FAX.045-212-1156



横浜市水道局採用案内ホームページ

WEB サイトにて詳しい記事や動画などを公開中



横浜市水道局キャラクター
はまビョン

※当リーフレットに記載されている内容は令和8年4月現在のものです。



ライフラインを守る

水の安定供給は、市民一人ひとりの暮らしを守ると同時に、企業や商店、工場などの活動を支え、横浜の経済や産業の発展に役立っています。



水道施設の更新・耐震化

大規模地震などの自然災害に備えて、高度経済成長期（昭和30～40年代）に設置した水道管や施設の、更新・耐震化を進めています。



災害時の対応・派遣

災害時には被災地に職員を派遣し、水道施設の復旧等に協力しています。令和6年1月に発生した能登半島地震や同年の豪雨でも現地に派遣されました。



国際貢献

アジア・アフリカ地域における水事情の課題解決のため、技術指導等の専門家・講師・調査団を、令和6年度末までに35か国、延べ529人の職員を海外に派遣しています。

水道事務所職員の日

市内7か所ある水道事務所では、水道管の維持管理など様々な業務を行っています。事務職が携わる仕事には、地域の防災訓練や、水道料金にかかわる業務もあります。

8:30	● 出勤	朝礼、ラジオ体操、ユニフォームに着替え
9:00	● 打合せ	午前中の現場説明
10:00	● 現場	お客様宅の漏水調査、水質調査、現場調査等
11:00	● PC作業	現場から戻り、報告書等を作成
12:00	● 昼休み	昼食
13:00	● 現場	工事に伴う断水作業
15:30	●	片付け
16:00	● PC作業	書類整理、各自の業務処理
17:15	●	退庁

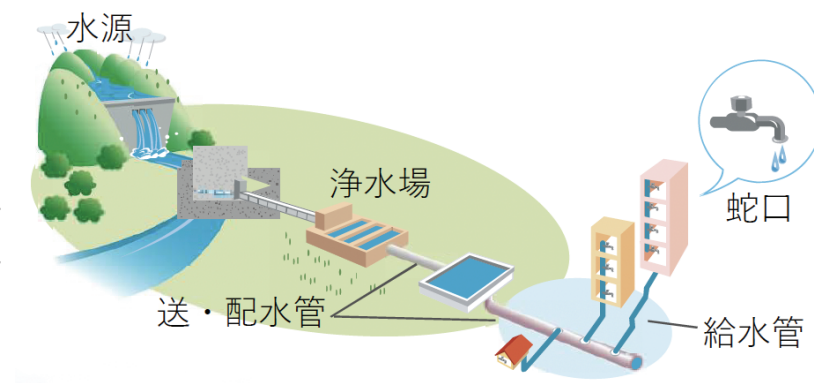


24時間 365日 安全な水を安定して お届けするために

横浜市水道局では、長い歴史の中で培ってきた技術を活かして、横浜に住む人や働く人、企業などに、24時間365日絶え間なく「安全で良質な水」を提供しています。「水道技術職」は、こうした水道特有の技術を習得し、未来に伝えていく職種です。

おもな仕事紹介

水道技術職は水道局に採用され、水道局内で異動し活躍します。水道特有の「浄水・配水・給水」の3分野の仕事を紹介します。



水道管などの維持管理

お客さまに安全な水を届ける仕事

水道事務所は、人々の暮らしに欠かすことのできない「水」を24時間365日、安心・安全・安定してお届けする役割を担っています。私たちは水道施設の維持管理をはじめ、漏水への迅速な対応や調査・修繕、水質検査、さらには災害など緊急時の給水運搬まで、昼夜を問わず現場の最前線で業務に取り組んでいます。当たり前の生活を当たり前を支え続ける、その責任と誇りを胸に、横浜市民の毎日を守る仕事です。



現場では市民の皆さまを身近に感じることができます

漏水が発生し、先輩や同僚と連携しながら修理対応を行ったことがありました。分からないことは先輩に教えてもらいながら作業を進め、無事に終わることができました。修理後に、市民の方から「すぐに来てくれて助かりました」とのお言葉をいただいたときのことはとても心に残っています。仲間と協力して、市民の皆さまの「困った」に応えることができた時、この仕事を選んでよかったと実感しました。2024年度入庁 水道技術職

水運用（みずうんよう）

水道管の水の量や流れをコントロールする仕事

配水管理課では、水道管内の水の量や流れる向き、水質などをコントロールして、浄水場で作った安全で良質な水をお客様のもとへ送る仕事をしています。実際に現場へ出向いて作業することもあります。



責任が大きい分、やりがいのある仕事です

大量の水が流れる大口径の水道管を、工事のために一時的に断水する際は、ほかの水道管から水が届けられるよう、切り替え作業を行います。水の濁りを起こさないために、細かい操作手順を自分で考えて取り組んだ作業がうまくいったときは、大きな達成感と自信につながりました。

2023年度入庁 水道技術職

浄水処理

水源の水から水道水を作る仕事

浄水場では、湖や川の水を原水として水道水を作り、皆さまにお届けしています。水道水を作るのに、その時の原水の状態に合わせて、様々な薬品を注入しており、作られた水道水が定められた水質を確保しているかを24時間体制で監視をしています。また、薬品を注入する機械が24時間確実に動作するよう、機械設備の点検も定期的に行っています。



市民対応だけでなく、自然への対応も仕事です

湖や川の水は雨が降ると濁ったり、夏は藻が発生するなど天候や季節により変化するため、適切な処理ができるよう、水質の監視や設備の点検、修繕を行っています。台風が接近した際は、水の濁りや停電が発生しましたが、先輩たちと協力して復旧作業に取り組み、一つの経験を得ることができました。こうした業務を通じ、市民の皆さまに安心して飲んでいただける安全な水をお届けできることにやりがいを感じています。2019年度入庁 水道技術職

2019年度入庁 水道技術職

電気機械設備の維持管理

浄水場やポンプ場にある電気・機械設備は常に良好な状態に維持管理することが必要です。そのために設備の日常点検や補修・更新工事を行い、設備が最適な状態を維持できるようにメンテナンスを行っています。



施設の維持管理が市民の安心につながります

私はポンプ設備や空調設備など、主に機械設備のメンテナンスを行っています。浄水場やポンプ場などの水道施設には薬品を注入する設備など、水道特有の設備が数多くあり、幅広い知識を身に付けることができます。また、自分が修繕や更新などで携わった設備が完成する姿を見ると、大きな達成感を得ることができます。

2023年度入庁 機械職